

長崎県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

選抜概要

- 長崎県の公立高校入試は、推薦選抜・一般選抜の2回あります。

【2020年】	出願期間	志願変更	検査日	合格発表
推薦	1/16(木)~22(水)	—	2/5(水)	~2/12(水)
一般	2/14(金)~19(水)	2/21(金)~27(木)	3/10(火)・11(水)	3/18(水)

- 出願は、原則1校（1課程1学科1コース）限ります。
普通科の通学区域は、県南・県央・島原・県北・五島・壱岐・対馬の7学区です。
普通科以外の学科に関しては、県全域が対象となります。

また、全日制の課程における普通科のうち、次のコースは県全域からも志願できます。

- ・五島高等学校スポーツコース
- ・五島南高等学校夢トライコース
- ・奈留高等学校
- ・壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース

一般推薦

- 一般推薦選抜は、普通科の一部を除く全学科で実施されます。
志願する明確な目的意識を持つ者、または、当該学科・コースに関する適性・興味・関心を有する者、かつ、志願先学校長が定める各学校ごとの独自要件を満たす受検者が対象です。

募集人員は以下の範囲内から各学校により決定されます。

- ・普通科…募集定員の5%~20%
- ・専門学科・総合学科…募集定員の10~40%

●選抜資料

- ①面接…志願者全員に実施
ただし学校長が特に必要と認めた場合、面接の一部を英語で実施出来る
- ②学校採択による検査…作文・小論文（400字~1000字程度）又は、
実技・適性検査（実施も含めて各学校により決定）
- ③調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う
・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
・評定は、中学1~3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象

- 以上の資料を活用し、総合的に判定して、合格者を決定します。

一般推薦入学に志願し、合格内定とならなかった受検者は、各課程の選抜の手続きにより、改めて希望する高等学校に出願することが出来ます。

文化・スポーツ特別推薦/ 離島留学特別選抜

●文化・スポーツ特別推薦について

文化・スポーツの各種大会等で優れた実績を有する者又は部活動等で優れた資質や能力を有する者で、入学後も継続的に活動を希望する者を対象とした選抜です。

各校の希望を踏まえた上、県教育委員会が実施校を決定します。募集人員は各校5名以内とし、面接・自己推薦書・調査書等の資料をもとに総合的に判断し選抜を行います。

一般推薦と特別推薦を同時に志願することは出来ません。

●離島留学特別選抜について

離島留学特別選抜は、入学願書、調査書、離島留学申請書及び当該高等学校で実施する面接、小論文の結果を資料として総合的にを行います。

ただし、五島高等学校においては、小論文に代えて体育実技を行います。

[離島留学特別選抜実施校]

- ・五島高等学校スポーツコース
- ・対馬高等学校国際文化交流科
- ・五島南高等学校夢トライコース
- ・奈留高等学校普通科(E-アイランド・スクール)
- ・壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース

一般選抜

●募集について、くくり募集を行う高等学校の関連学科への志願は、1学科志願とみなします。

また、志願者は、入学願書受付締め切り後に、学校・課程・学科及びコース（同一校における併願した学科等の志望順位を含む）を1回に限り変更することが出来ます。

●選抜資料

①学力検査…国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各100点）

- ・学科等の特色に応じて傾斜配点の場合あり（1.5倍～2.0倍）
- ・数学、英語の検査問題は、その問題の一部を難易度の異なる2種類の選択問題とし、各学校はそのいずれかを指定する

②面接

③調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う

- ・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
- ・評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象

●以上の資料を活用し、総合的に判定して、合格者を決定します。

その際、調査書の記載内容と学力検査の成績を同等に扱うことを基本とします。

2021年度から入試制度が変更されます！

現行の「推薦選抜・一般選抜」から「前期選抜・後期選抜」に変更

[前期] 募集定員は5%～50%の範囲で各校が学科別に定める
志願区分はA特色選抜、B文化・スポーツ特別選抜とする

[後期] 一般選抜で実施している志願変更は廃止
学力検査(数・英)の難易度の異なる選択問題を廃止

※詳細は各学校の募集要項をご確認ください。